

平成22年度秋の叙勲で、熊谷壯一郎さんと松尾光信さんが瑞宝双光章を受章しました。お2人の長年にわたる功績に、光が当てられました。

秋の叙勲

[瑞宝双光章]

文武両道の教育に尽力



教育功労
松尾光信さん
(織笠・72歳)

織笠の松尾光信さん(72)が、教育の推進に貢献したことで瑞宝双光章を受章しました。「章のことは全く考えていなかったので驚きました。このような立派な章をいただきとても光栄です」と喜びを話します。昭和37年、豊間根中に赴任して以来、宮古市の小学校で教壇に立ち児童生徒たちとの触れ合いを大切にしてきました。下閉伊教育事務所指導主事、愛宕小学校教頭を経て、平成元年に金沢小学校に校長として就任。

山田南小・山田中・宮古小

退職後は、町教育委員会教育長を2期8年間勤めるなど、町の教育向上に貢献しています。「今後は町の教育行政に陰ながら応援していきたいです」と笑顔で話していました。



学校保健功労
熊谷壯一郎さん
(中央町・75歳)

昭和37年から47年間、町内の幼稚園から高校までの学校薬剤師として環境衛生の改善や児童生徒の健康保持に努めたほか、40年から県学校薬剤師会の幹事や宮古支部長、副会長を歴任するなど学校の環境向上に貢献してきました。親の仕事を継ごうと薬剤師を志した熊谷さんは、昭和34年に

宮古保健所に薬剤師として勤務しました。「宮古・下閉伊管内の学校は、環境衛生基準に達していない所が多数ありました」と当時の学校環境の劣悪さを振り返ります。これを改善しようと家業を継いだ37年に町の学校薬剤師に就任。学校やPTAの皆さんの協力を得ながら環境衛生の改善に尽力してきました。現在は、家業の処方せんの調剤や医薬品の販売のほか、山田の海を守る会の役員として環境保護に努めるなど忙しい毎日です。「これからは、地域の環境保全にお手伝いしていきたい」と意欲を燃やしていました。

学校の衛生改善に47年

中央町の熊谷壯一郎(75)さんが、瑞宝双光章を受章